


WA!



No.7

 お寺の思い出

私のお寺の日曜学校に通っていた女の子の話です。家がお寺の近所ということもあり、月に二回の日校だけではなく毎日のように夕方、友達や弟をつれて鐘をつきにきてくれました。残念ながら中学校に入学してからはあまり来れなくなり、その後県外の大学に進学しました。

一人暮らしは誰でも憧れることですが、やはり寂しいものです。そんな時、その子がふと思い出したことに、よくお寺で遊んだこと、花まつりのことや仏教賛歌を歌ったことが、頭にうかんだということです。日曜学校でのことが、大切な楽しい思い出になっていたのです。京都の企業に就職後、寮が本願寺の近くだったこともあり、児童念仏奉仕団に参加したことを懐かしく思い出されたということです。

私にとっても嬉しそうに、その事をお話くださったお母さんにも有り難く思いました。

日校を続けるには寺族だけでなく、親やまわりの方々の協力が必要です。現在も細々と活動しているのですが、やめてはいけない、あきらめてはいけないとそんな勇気をいただきました。少年教化はなかなか結果がでるものではなく悩みも多いですが頑張っていなくてはと思います。

中・四国ブロック指導者研修会



平成二〇年度、中・四国ブロック少年連盟指導者研修会が七月一日〜二日の二日間にわたって行われ、その一日目の講師として、吉本興業所属のママさんタレント亀山房代さんをお招きしました。亀山さんには六年ほど前から「御堂さん」にエッセイを執筆しておられるご縁もあり、このたび「今どきの子どもたち」をテーマにお話ししていただくことになりました。

会場に登場された時は「さすが芸能人！」という雰囲気ではなく、小学一年生の子どものさんを持つお母さんというアットホームな雰囲気の方でしたが、話し始めると新幹線のように約二時間休みなくしゃべり続けられました。さすがが吉本タレントしゃべりのプロです。

亀山さんのデータによると十五年くらい前までは、アニメ「ドラえもん」に登場してくる、のび太やジャイアン、スネ夫のような個性あふれる子どもたちがたくさんいたが、最近はこのような個性を

持った子どもが少なくなってきたという。「何を考えているのかわからず、心のキヤッチボールをしようとしても反応がなくコミュニケーションをとることが難しくなった。さみしいことも自分の中に隠し、嘘をつくのも平気、罪悪感もない。一発芸でしか笑えない子どもたち」長い話をオチまで聞けない子どもたち。人の話を聞けない子どもたち。大人の想い、人の心まで想像できない子どもたちが増えている。今の子どもたちの心の奥にある箱を開ける人になりたい。一発芸で笑っているすきにすつと入って救ってあげるとかできないかなあ。私の課題は笑いを通して心の奥の箱を開けてあげること」と亀山さんは語る。

また、さまざまな国の戦争に従軍していた報道カメラマンの夫が亀山さんにとって師匠であり、亀山さんが弟子という関係だそうで、いつも言われるのが「まず物を大事にしなすすぎ、そして一番近くにいる人に一番感謝すること」を君は忘れてる。一番近くにいる一番身近な人、僕と娘に、ありきたりな話やけど感謝の気持ちでありがとう、おはようくらいは絶対言って欲しい」ということです。

この話を聞いて私は胸を突かれたような思いでした。最近、日校に集まる子どもたちはありがとう、「ごめんなさいを中々言ってくれませんか。「感謝したときはありがとう。悪いことをしたときはごめんなさいと言わないとダメだよ」と叱

ることがありますが、はたして自分は一歩身近な人、両親や嫁さんに本当に感謝して「ありがとう」「おはよう」ましてや素直に「ごめんなさい」と言えているのだろうか。この基本的なことからは始めないといけないような気がしました。

亀山さんは「子どもは正直です。子どもは大人の心を見抜くメカネを持つています」とおっしゃいました。遊ぶ時間をさいてまでお寺に集まってくれてありがとう。感謝の心で接すれば子どもは同じ力で返してくれると信じて向き合っていきたいと思います。

八月には当山のサマースクールがありました。今年は仏社と仏婦の皆さんにも協力していただくとうと声をかけてみたところ「最近の子どもは言うこと聞かなくてえの」と言われながらも快く承諾し



てくださいました。このように世代を超えて、みんな一緒に阿弥陀さまに手を合わせる事が、心の通った子どもたちを育てていく大切なコミュニケーションになるのではないかと期待しています。これからもやわらかい頭と軽快なフットワークで出来ることから頑張ってください。

即効、レクの素！ DVD

指導：九州あそびの研究所
所長 中島 宏氏

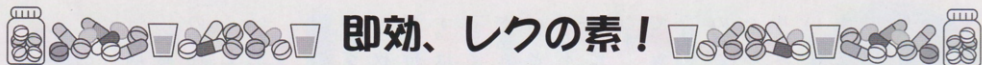
平成19年度安芸教区少年連盟後期学習会の模様をDVDにまとめました。

貸出し希望の方は
教務所 少年連盟担当まで
☎ 082(231)0302



楽しく！

朋に



中・四国ブロック指導者研修会の二日目、奥田裕子先生のゲーム講習が行なわれました。参加者一同が童心に帰り、会場がまさに日曜学校のような雰囲気となりました。

講習では定番のゲームに少しアレンジを加える事でまた一味違うゲームになるものや、初めて目にするようなゲームの紹介があり、普段からレクリエーションに頭を悩ます指導者にとって、大変有意義な講習となりました。ここでは、講習中でのゲームをピックアップして紹介します。

【ゲーム名】「たい・たこ・たら」

【隊形】 二人組

【ルール】

- (1) 二人組でジャンケンをする。
- (2) 勝った人が「たい」役となり、負けた人は「たこ」役になる。
- (3) 二人が正座で向い合って座る
- (4) 握手をするような感じでお互いの左手を合わせ、右手は相手の左手の甲から少し離れたところで構える
- (5) リーダーが「たい！」と言ったら「たい」の人が「たこ」の手の甲をたたき、「たこ！」と言ったら「たこ」の人が「たい」の手の甲をたたく。たたかれるほうは急いで手を下に下げて逃げます。そして「たら」と言った場合は握手をします。



【hint!】

※「たい」ではなく「たいこ！」や「たこ」ではなく「たらこ！」と掛け声を変えることによって、ゲームがより盛りあがります。間違えて相手をたたいてしまった場合には相手の手をさすってあげるなどのルールを決めておくと思いいます。

【ゲーム名】「はんかちとり」

【隊形】 4人～5人組で円になる

【ルール】

- (1) 円の真ん中にハンカチを山の形にしておく
- (2) リーダーのコールによって次の動作を行う。
 - (コール)「グリーンピース！」→メンバーは「ゲー」と言いながら右手でゲーを作り、腕を上げる。
 - (コール)「パイナップル！」→メンバーは「パー」と言いながら右手でパーを作り、腕を上げる。
 - (コール)「チョコレート！」→メンバーはチョコキを作り、円中央のハンカチをはさんでとる。
 何回か繰り返し、ハンカチを一番とったメンバーの勝ちとなります。



【hint!】

※ハンカチをとれないメンバーが出てくるので、何回かとったメンバーは少し後に下がるというルールを作るとゲームの公平性が高まります。

※最初は「パイナップル」のコールによって「パー」でハンカチをとるというルールで行い、次に「チョコレート」のコールで「チョコキ」でとるというように、難易度を上げていくのも面白いと思います。

身の回りのものから・・・ ちびっ子で知恵と工夫でもせむちがでせむ!

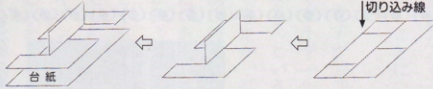
平成二十年五月七日、広島別院にて少年連盟指導者学習会が開催されました。広島市こども文化科学館のスタッフの方を講師に、さまざまな年齢層から約三十名の参加がありました。このたびの学習会は、「身近にあるものを工作して、形を変えることによって、創造力を高める」という趣旨で行われました。実際に教えていただいた工作のいくつかを紹介いたします。

ネームスタンド

用意するもの・厚紙二枚、ハサミ、のり

一枚の紙にたった三カ所切り込みを入れて折るだけでネームスタンドが出来ます。はじめに先生から見本を示されて、「どうやってつくるのでしょうか」と問題が出されたのですが・・・

パッと見るとあり得ないとても不思議な形です。十数分考えに考えて、結局わからず。答えを教えてもらって、実際にやってみると、「おぉーなるほど!」頭の固さを思い知らされました。ハート形なるように切り込みを入れると、かわいいネームスタンドになります。メッセージを書いたり、デコレーションしてあげたりするとたのしいです。台紙を貼り付けて、補強してください。



ストロー

用意するもの・ストロー、ハサミ

とっても簡単です。ストローを五cmくらいに切り取り、さらに先端を1cmくらいつぶし、斜めに切り取ります。切り取った辺りを上下の唇で軽く押さえて吹きます。唇をあてる角度など、コツをつかんでください。



水筒

用意するもの・太めのストロー、ハサミ、ホチキス、穴をあけるもの(コンパス、千枚通しなど)、尖った鉛筆、爪楊枝、フィルムケース、水(少量)

(1) ストローを十二cmほど切り取り、端から6cmのところに切れ込みを入れる。

(2) 切れ込みのところから九十度におりまげ、折り曲げたところを図2のようにつぶし、図のように端をホチキスで留める。

(3) 空気のおりを良くするために、爪楊枝で広げる。



(4) フィルムのキャップに千枚通しなどで穴をあける。

(5) 尖った鉛筆を(4)であけた穴に差し込み、穴を広げる。

(6) フィルムケースに図のように空気を抜くための小さな穴を千枚通しで三つあけ、水を八分目ほどまで入れる。フィルムケースに先程穴をあけたキャップで蓋をし、ストローを差し込む。ストローの差し込む量を調節しながら、吹く。

